

第2期（令和2年度～令和6年度）

国

第1期での地方創生について「継続を力」にし、より一層充実・強化（国のビジョン・総合戦略）
 ◇ビジョンは大きな変更なし、次期総合戦略は12月策定予定

地方〈石狩市〉

第2期石狩市まち・ひと・しごと創生総合戦略：第1期総合戦略を継承しつつ、具体的施策やKPIの改善や見直し

人口ビジョン：最新の数値や状況の変化を踏まえた上で必要な見直しを行う。

【4つの基本目標と地方創生版・3本の矢】

- ◇従来の枠組を維持しつつ、必要な強化
 - ・「地方へ新しいひとの流れをつくる」の取組の強化
 - ・「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」について子ども子育て本部等と連携
- ◇「人材を育て活かす」「誰もが活躍する地域社会をつくる」観点を追加
- ◇新たな視点に重点をおいて施策を推進
 - ・新しい時代の流れを力にする、人材を育て活かす等

地方創生版・3本の矢:情報支援、人材支援、財政支援

第3期（令和7年度～令和11年度）

国

第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を改定し、令和5年度を初年度とする「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を策定
 ◇これまでの地方創生の取組の継承と発展、デジタル力の活用

地方〈石狩市〉

- ・戦略の基となる第5期石狩市総合計画の計画期間中
- ・国では4つの基本目標などは維持しつつ、デジタル活用を新たに追加

【4つの取組・デジタル実装・3つの連携】

- ◇地方に仕事をつくる
- ◇人の流れをつくる
- ◇結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ◇魅力的な地域をつくる

デジタル基盤の整備、デジタル人材の育成確保、誰一人取り残されない取組（デジタル実装の基礎的条件整備）

【政策間連携⇔施策間連携⇔地域間連携】

【第3期石狩市まち・ひと・しごと創生総合戦略は・・・】

- ☆基本的に第2期総合戦略を継承しつつ、一層の充実・強化に取り組むため、デジタル活用の視点を取り入れた効果的な施策や重要業績評価指標（KPI）の改善や見直しを行う。
- ☆人口ビジョンは、最新の数値や状況の変化を踏まえ上で必要な見直しを行う。
- ☆国の基本方針に掲げられた新たな視点における取組を意識する。

人口ビジョン

中期展望（2040年）

（仮）定住人口の維持

**2040年の社人研推計準拠に
約6,000人の上乗せ**

**2040年人口見通し
約55,000人
（社人研推計準拠 49,000人）**

①出生率の向上(+500人)
※2030年まで出生率1.34を継続、2040年までに出生率1.8に段階的に回復

②2026年以降、20代の転出超過数を半減(+500人)

③広域連携により圏域に人を呼び込む

④「しごと」等の創出による移住・定住
(③④+5,000人)

※魅力・活力にあふれ、投資や人材を呼び込むとともに、将来を担う人材が豊富な圏域の形成
※新たな産業の立地、U・Iターン、起業支援、移住支援など

交流人口の拡大
年間250万人の交流人口創出

- ・まちの魅力の向上（観光、新産業、雇用）
- ・移住誘導
- ・近隣市町村との連携
- ・外国人との交流

関係人口の創出・拡大
・地域と継続的なつながりの確保

長期展望（2060年）

人と経済、歴史の好循環

将来の「まちの持続」

絆 「住み続けたい、住み続けたい」と思う、魅力あるまちであり続ける

環境 住みたいと思う、魅力あるまちであり続ける

創造 動かす仕組み

（総計策定作業における市民意見の検討）

みんなでつくる、こんなまち・いしかり

まちづくりの進め方

協働・連携・成長

計画の進化・市民による地域経営・市民目

総合戦略（2025(R7)～2029(R11)の5か年）

都市像	推進方策	戦略目標（数値目標）	具体的な施策	主な重要業績評価指標（KPI）
絆	1. 「新現役世代」が活躍する	知識や技能、経験を有する「新現役世代」が地方を元気にする中核として、生涯健康で活躍するまちを目指す。	<ol style="list-style-type: none"> 「新現役世代」の活動と交流の推進 地域課題を解決する地域ネットワークの構築 多世代交流による地域の活性化 健康寿命の延伸に向けたサポートの充実 	<ul style="list-style-type: none"> はまなす学園の講座等受講者数 5年間で5,000人 認知症カフェの開催回数 5年間で300回 保健介護一体化事業のポピュレーションアプローチ（健康教育）の参加者数 5年間で7,000人
		【数値目標】 ・地域活動に関わりをもつ新現役世代の人数 10,000人 ・自分の人生経験を地域社会で活かしたいと思う60歳以上の割合 100%	<ol style="list-style-type: none"> 若い世代の出会いを通じた地域活力の醸成 地域が連携した子育て支援・地域教育の推進 子育て環境の整備 妊娠・出産の希望をかなえる支援の充実 デジタルを活用した子ども子育て支援の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 結婚新生活支援事業補助金支給世帯数 5年間で70件 待機児童数 通年0人 オンラインを活用した給付及び現況届出数 5年間で1,650件
	2. 「子育て力」をさらに発揮する	まち全体で子育て家庭やこどもの育ちを支え、こどもが安全かつ安心して学び、健やかに育つまちを目指す。	<ol style="list-style-type: none"> 「地域資源」からモノやしごとを創る 新しい雇用の創出、若者の職場定着支援 物流を核とした臨海部産業集積エリアの形成 エネルギー関連産業を核とした新たな産業空間の形成 	<ul style="list-style-type: none"> 地場特産品販売額 5年間で10億円 加工品の開発数 5年間で25件 セミナー参加の高校生の就職内定率 毎年100% 「物流関連ゾーン」を含む石狩湾新港地域内（石狩市域）への新規立地企業数 5年間で80社
		【数値目標】 ・令和11年度末における年少人口 5,800人 ・石狩市は子育てしやすい環境だと思割合 80%	<ol style="list-style-type: none"> 観光資源を活かした交流人口の誘導 中山間・過疎地域における多機能・複合型交流拠点の形成 地域の魅力や可能性を活かした賑わいづくり 観光産業におけるDX推進 	<ul style="list-style-type: none"> 海辺の施設・イベント等の入込客数 5年間で50万人 市民図書館（本館）入館者数 5年間で100万人 デジタルマップの閲覧数 5年間で50万件
	3. 「地域資源」からモノやしごとを創る	いしかりの資源や魅力、石狩湾新港地域のポテンシャルから、新たな産業やブランドを創出し、地域経済が活性化されるまちを目指す。	<ol style="list-style-type: none"> 「いろいろな顔」をつくる 学びの機会と輪を広げる取組の推進 スポーツ・健康のまちづくりの推進 競技スポーツの推進とアスリートの育成 幅広い人材登用による地域活力の創出 豊かな自然、多様な生物、人が共生するまちの推進 歴史文化の醸成による観光産業の活性化 移住・定住の推進 デジタルを活用した教育、人材育成の推進 	<ul style="list-style-type: none"> セミナー参加の高校生の就職内定率 毎年100% 「物流関連ゾーン」を含む石狩湾新港地域内（石狩市域）への新規立地企業数 5年間で80社
		【数値目標】 ・市内産業売上高 3,800億円 ・石狩湾新港地域における立地企業数 800社	<ol style="list-style-type: none"> 1. ICTを有効活用する新たな行政サービスの構築 時代・地域に即した交通体制の推進 行政事務の広域連携の推進 近隣自治体との連携強化の推進 遊休公共財産の有効活用の検討 将来にわたって暮らしやすいまちづくりの推進 防災・減災、国土強靱化の取組の推進 	<ul style="list-style-type: none"> オンライン手続き申請数 5年間で1,500件 市内オンデマンド運行事業および通勤オンデマンド運行事業の合計利用者数 5年間で15万人 公共施設や公共システムの共同利用や、事務共通化の件数 5年間で2件 地域情報発信アプリを利用した防災啓発等に関する情報発信の回数 5年間で50回
4. 「いろいろな顔」をつくる	まちの魅力や地域の特色を磨き上げ、まちの自慢や誇りとなる「顔」があるまちを目指す。	<ol style="list-style-type: none"> 5. 誇りとなる「人や文化」を育てる 6. 時代にあった地域として持続する 	<ul style="list-style-type: none"> いしかり市民カレッジの登録者数 毎年130人 強化事業やスポーツイベントの開催数 5年間で20件 石狩湾海浜植物等保護地区などの保護区 R11年時 64ha DX関連研修の受講者数 5年間で485人 	
	【数値目標】 ・交流人口数 250万人 ・地域資源を見つけ、価値を創造し、魅力あるまちにしていくための集まりに参加している市民の割合 50%	<ol style="list-style-type: none"> 【数値目標】 ・令和11年度末における人口 56,600人 ・これからも石狩市に住み続けたいと思う人の割合 100% ・石狩市を一時的に離れても、石狩市に戻ってきたいと思う30歳未満の割合 100% 		
5. 誇りとなる「人や文化」を育てる	いしかりに暮らす人々の誇りや愛着を醸成し、世界に羽ばたくような人材の育成や、新しい石狩文化が育つまちを目指す。			
	【数値目標】 ・転入、転出者数の均衡（転入者数-転出者数） 200人 ・石狩市が好きと感じる市民の割合 100%			
6. 時代にあった地域として持続する	長期的視点で安全・安心・快適な生活環境を持続するため、公共施設の適正配置、維持管理を推進するとともに、近隣市町村との連携強化を図る。			
	【数値目標】 ・令和11年度末における人口 56,600人 ・これからも石狩市に住み続けたいと思う人の割合 100% ・石狩市を一時的に離れても、石狩市に戻ってきたいと思う30歳未満の割合 100%			

【参考】 第3期では重要業績評価指標としない主な事業

戦略目標3 「地域資源」からモノやしごとを創る

・漢方生産量

理由:試験、研究の継続により数量の設定が難しいことからKPIとすることに適當ではないこと、他のKPIにより戦略目標の推進が可能と判断したため。

・新卒採用者の
早期（3年以内）
離職率

理由:離職率が安定せず、事業との関連性が不明確であり、KPIとすることに適當ではないこと、他のKPIにより戦略目標の推進が可能と判断したため。

・オフセット・
クレジット（い
しかりJ-V E
R）の販売量

理由:オフセット・クレジット（いしかりJ-V E R）がR8年度終了であるため、KPIとすることに適當ではないため。

戦略目標4 「いろんな顔」をつくる

・農泊施設を拠点
とした新たな体験
メニュー開発数

理由:農泊施設での体験メニューはいしかり古民家活用地域活性化協議会が行っているものの、現状農泊施設は「古民家の宿Solii」のみであり、新たな農泊施設の追加もまれず、KPIとすることに適當ではないこと、他のKPIにより戦略目標の推進が可能と判断したため。

【参考】 第3期では重要業績評価指標としない主な事業

戦略目標5 誇りとなる「人や文化」を育てる

- ・ ボランティア
学生数

理由:第2期総合戦略より大きく指標を落とす見込みであり、KPIとすることに適當ではないこと、他のKPIにより戦略目標の推進が可能と判断したため。

- ・ 植樹延べ参加
者数

理由事業：事業の目的が植樹から管理に変わり、参加者数をKPIとすることに適當ではないこと、他のKPIにより戦略目標の推進が可能と判断したため。

戦略目標6 時代にあった地域として持続する

- ・ 空家活用促進事
業制度利用件数

理由:空き家活用について、処分が主となり、リノベーションすることはほぼなく、KPIとすることに適當ではないこと、他のKPIにより戦略目標の推進が可能と判断したため。

第2期石狩市まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和6年度実績概要 (令和6年9月1日時点)

1. 戦略目標別数値目標の進捗状況について

戦略目標	指標	数値目標 (令和6年度)	実績値 (令和5年度)	実績値 (令和6年9月1日時点)
1	①地域活動に関わりをもつ新現役世代の人数	10,000人	<u>11,170人</u>	1,095人
	②自分の知識や経験を地域社会で活かしたいと思う60歳以上の割合	100%	65.0%	調査中
2	③令和6年度末における年少人口	6,100人	<u>6,639人</u>	調査中
	④子育てに関する様々な集まりに参加している(参加したいと思う)市民の割合	50%	28.3%	調査中
3	⑤市内産業売上高(経済センサス活動調査)	2,500億円	<u>3,097億円</u> (※)	<u>3,097億円</u> (※)
	⑥石狩湾新港地域における立地企業数	800社	762社	764社 (令和6年6月末時点)
4	⑦交流人口数(観光客等入込数)	270万人	226.7万人	70万人 (令和6年6月末時点)
	⑧地域の資源を見つけ、価値を創造し、魅力あるまちにしていこうための集まりに参加している(参加したいと思う)市民の割合	50%	23.9%	調査中
5	⑨転入・転出者数の均衡(転入者数-転出者数)	100人	<u>208人</u>	12人
	⑩石狩市が好きと感じる市民の割合	100%	83.7%	調査中
6	⑪令和6年度末における人口	56,000人	<u>57,480人</u>	<u>57,187人</u> (令和6年6月末時点)
	⑫これからも石狩市に住み続けたいと思う人の割合	100%	82.8%	調査中

12指標のうち、令和6年9月1日時点では2指標達成(下線で表記)、10指標が未達成(調査中)であった。

※経済センサス活動調査(市内産業売上高)とは、総務省が5年ごとに実施している調査であり、当該数値は令和3年6月に調査を実施し、令和5年6月に公開されたものである。

2. 施策別重要業績評価指標(KPI)の実績について

戦略目標	S	A	B	合計
1 (No. 1~10)	2	0	8 (5)	10
2 (No. 11~18)	1	2	5 (2)	8
3 (No. 19~35)	6	7	4 (2)	17
4 (No. 36~42)	1	3	3 (1)	7
5 (No. 43~55)	4	2	7 (5)	13
6 (No. 56~65)	5	3	2 (1)	10
合計	19	17	29 (16)	65

※()内は新型コロナウイルス感染症の影響を受けたもの

全65項目において、令和6年9月1日時点では「S」又は「A」が全体の55%で前年度の6割より減少したものの、「S:KPIをすでに達成している」が19項目(約3割)で前年度の17項目(約26%)より増加しており一定の成果が表れている。

一方で、「B:KPIの達成に向け、事業の改善や見直し等が必要である」は29項目(約4割)で前年度の27項目(約11%)より増加していることから、次期計画において着実に取組を進める。

※「S」…目標達成済み

「A」…今年度中に目標達成見込み(令和6年9月~令和7年3月の実績にて5年間の指標を達成見込み)

「B」…今年度中に目標達成は不可能